

令和7年度 第1回大分県森林^{もり}づくり委員会

日時：令和7年6月27日（金）

14:00～16:00

場所：大分県庁新館133会議室

次 第

I. 開 会

II. 森林づくり委員会 委員長あいさつ

III. 議 事

1. 令和6年度大分県森林環境税活用事業の取組について

①安全・安心な道路環境創出事業（道路保全課）

②再造林促進事業（森林整備室）

③森・川・海つながり実感！プロジェクト（漁業管理課）

2. 令和7年度大分県森林環境税活用事業について

3. 第4期大分県森林環境税報告書について

4. 大分県森林環境税の名称について

IV. その他

今後のスケジュール

V. 閉 会

安心・安全な道路環境創出事業

土木建築部 道路保全課

目 次

- 現状・課題
- 事業内容
- 令和6年度実績事例の紹介

安心・安全な道路環境創出事業【道路保全課】

➤ 現状・課題

道路沿線の森林は、道路と自然が調和した良好な景観の形成や運転者の快適な道路利用に寄与



近年、『森林所有者の高齢化』等により、所有者個人による伐採の対応が困難



台風や豪雨時に多数の倒木が発生



『孤立集落の発生』や『災害復旧活動への妨げ』



山香国見線(国東市)



日田鹿本線(日田市)

安心・安全な道路環境創出事業【道路保全課】

➤ 現状・課題

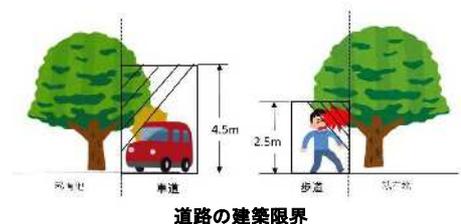
法律上の責任は・・・

- ・ 森林所有者：民法第233条
支障木について「所有者に切除させることができる」と規定
- ・ 道路管理者（県）：道路法第29条
道路について「安全かつ円滑な交通を確保することができるものでなければならない」と規定



支障木は、原則、**森林所有者の責任で管理**

※道路管理者は、道路の「建築限界」内の支障木の伐採を実施



近年の倒木発生時の被害が甚大

道路沿線の森林伐採要望が増加



R7.5.16 別府山香線(別府市)

安心・安全な道路環境創出事業【道路保全課】

➤ 事業内容

- 倒木発生時に甚大な被害につながる恐れのある樹木の**事前伐採**
- **安全・安心な道路環境の創出**や**防災力強化を図る**



宇目清川線(佐伯市)



中津留轟牧口停車場線(豊後大野市)



- 道路沿線の立木伐採による**道路と自然が調和した良好な景観の形成**
- 危険な**荒廃森林の適切な伐採による災害に強い森林づくりの推進**

安心・安全な道路環境創出事業【道路保全課】

令和6年度事業実施路線一覧表

豊後高田市	豊後高田国東線	1箇所
国東市	両子山武蔵線	1箇所
杵築市	山香国見線	1箇所
大分市	久住高原野津原線	1箇所
佐伯市	宇目清川線	1箇所
豊後大野市	宇目清川線	1箇所
竹田市	竹田直入線	1箇所
日田市	国道212号	1箇所
中津市	国道212号	1箇所
宇佐市	国道387号	1箇所
計	10路線	10箇所

安心・安全な道路環境創出事業【道路保全課】

➤ 令和6年度実績

両子山武蔵線(国東市安岐町富清)



伐採前



伐採後

安心・安全な道路環境創出事業【道路保全課】

➤ 令和6年度実績

宇目清川線(豊後大野市三重町中津留)



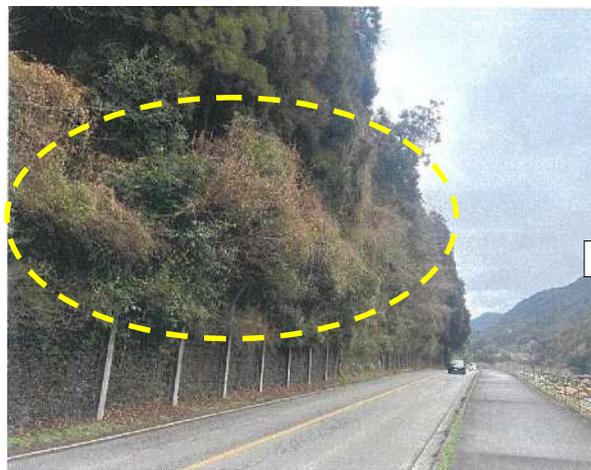
伐採前



伐採後

➤ 令和6年度実績

国道212号(日田市大山町西大山)



伐採前



伐採後

再造林促進事業について



令和7年6月27日

大分県 農林水産部 森林整備室

再造林促進事業について

【現状と課題】

- ・ 県内の人工林は利用期を迎えている中、旺盛な国産材需要を背景に主伐が増加傾向
- ・ 無秩序伐採による林地荒廃、再造林放棄地の問題
再造林率の低迷（H21:51%）
- ・ 育林コストの低減を図り、確実な再造林を推進



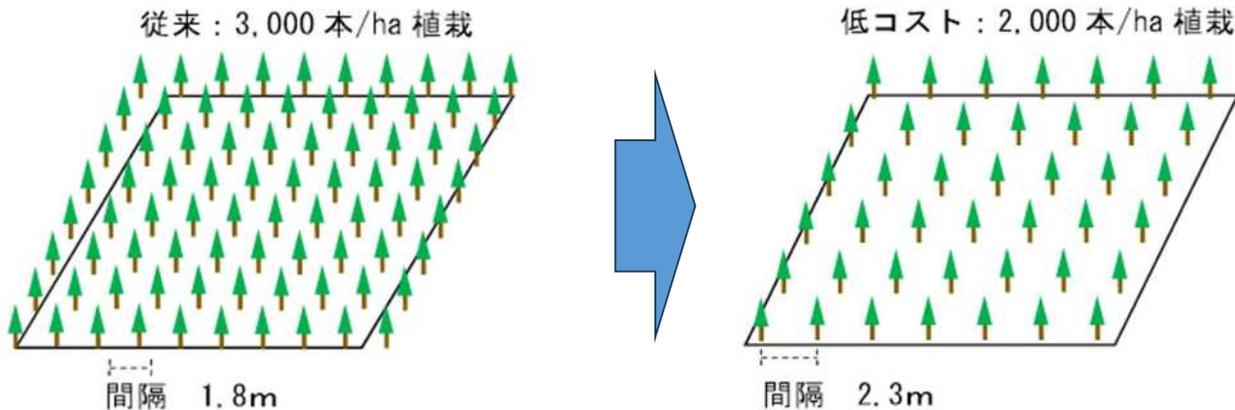
【対策】

- ・ 森林所有者の負担軽減を図るため、低コスト再造林（疎植）に県や企業と連携して支援
- ・ 持続的な森林経営を行い、森林の多面的機能の回復を図る

⇒確実な再造林を推進するため、平成22年度から事業開始

事業内容

- 伐採後の林業適地において、
低コスト再造林（植栽本数1,000本～2,000本/ha）の経費
について **造林補助金に加え上乗せ助成**を行う

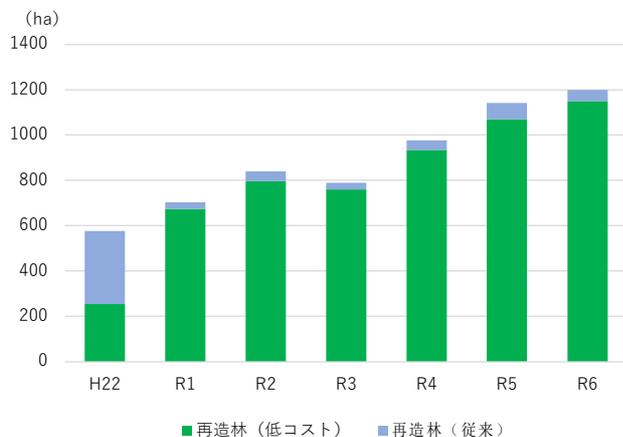


<上乗せ助成率>

- 大分県県森林環境税 15%
- 大分県森林再生基金 約5%

これまでの事業実績

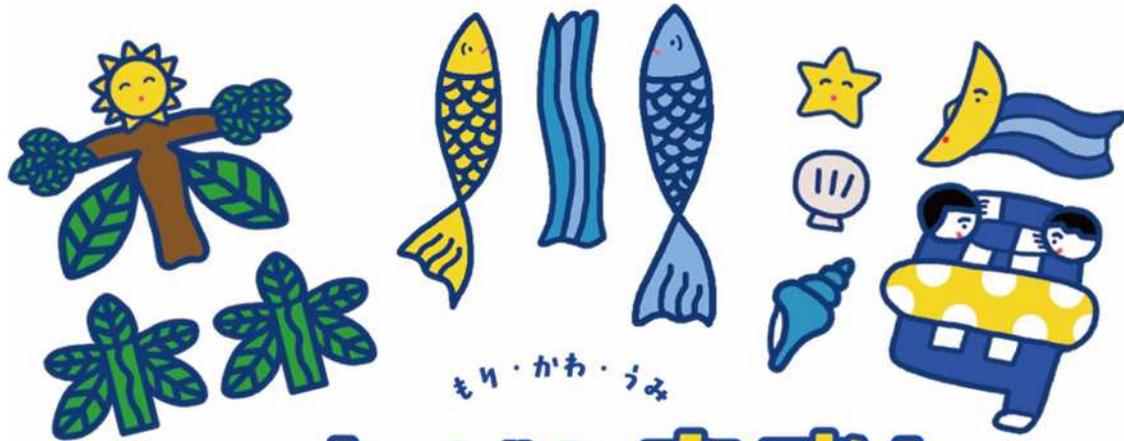
- R6実績 1,150ha（第4期累計3,912ha）
- 事業の活用により、再造林の促進に大きく貢献



	H22	R1	R2	R3	R4	R5	R6
再造林面積(公共)	577	703	840	788	977	1,142	1,199
うち低コスト	254	674	796	759	934	1,069	1,150
割合	44%	96%	95%	96%	96%	94%	96%

再造林率
R6 : 80%

令和6年度



つながり実感! プロジェクト

令和7年6月27日
農林水産部漁業管理課

概要

○令和6年11月10日開催



第43回全国豊かな海づくり大会「基本構想」

3. 基本理念

大分県の豊かな海や川を次代へ引き継いでいくため、つくり育てる漁業に一層取り組みとともに、それらを守る自然環境を守っていくことの重要性を県内外へ広く訴えかけます。
また、四季折々の味わいあふれる多様な水産物に加え、「おんせん県おおいた」の新たな魅力を全国へ広く発信していきます。

4. 基本方針 (基本理念を支える4つの柱)

①水産資源の保護と 管理の一層の推進

水産資源の維持・増大を図り、「生産者の挑戦と努力が称される漁業」の実現に向け、令和5年度にリニューアルする大分県漁業公社を核に、つくり育てる漁業をさらに推進するための大会とします。

②森から川、海へとつながる 豊かな自然環境の保全

森から川へ、川から海へとつながる自然環境や環境意識などによる「豊かな自然環境の保全」とも、国際的に大きな増加している海洋プラスチックごみ等の削減に取り組むことの一環として、県内外へ広く訴えかけ、次代に引き継いでいくことを目指します。

③四季折々の多様な 水産物の消費拡大

「奥あじ開きば」、「城下がれい」、「かぼすぶり」、「地産地消」などのブランド水産物をはじめ、本県の海や川で育まれた四季折々の多様な水産物の味を県内外へ発信し、消費拡大を図る大会とします。

④おんせん県の新たな 魅力を全国に発信

日本唯一の海上交通であるホーパークラフトの復活や「宇宙港」としての発展が期待される大分空港など、本県の新たな魅力を令和6年度の「おんせん県おおいた」キャンペーンとあわせて、全国に発信する大会とします。

②森から川、海へとつながる 豊かな自然環境の保全

自然環境の保全についての県民の意識向上を図るため、



開催!

プロジェクトのねらい



現状 県民が森川海のつながりを一体的に学ぶ機会が乏しい

目的：豊かな自然環境を保全していくため、森川海のつながりを学び、環境保全への意識向上を図る

対策 森・川・海のつながりを一体的に学べる体験型学習プログラムを開催！

R6年度は県内6か所で開催！

つながり実感！プロジェクト

参加無料 事前申込制

対象 大分県内在住の小学4～6年生

各プログラム 15人程度

開催日程

- 7/21 (日) 中津
- 8/1 (木) 杵築
- 8/10 (土) 佐伯
- 9/1 (日) 国東
- 9/16 (日) 大分
- 8/21 (木) 大入島

つながり実感！プロジェクト

参加無料 事前申込制

対象 大分県内在住の小学4～6年生

定員 15人程度

開催日程

- 7/21 (日) 中津
- 8/1 (木) 杵築
- 8/10 (土) 佐伯
- 9/1 (日) 国東
- 9/16 (日) 大分
- 8/21 (木) 大入島

合計85名参加（応募者延べ690名）

広報実績

HP作成



テレビ番組内の告知



チラシ：2万部配布



実施エリアの5市内の小学4～6年生へ配布。
※残りは、県内図書館及び他イベント等で配布。

このプロジェクトは、大分県森林環境税を活用しており「第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～」の開催に向け、森・川・海のつながりと豊かな自然環境の保全について、県民への啓発を行うための事業として実施するものです。

開催の様子①

杵築コース

行程	場所	内容
①	JR杵築駅	オリエンテーション
②	首ひねり波止場	・干潟の生き物観察
③	昼食	・鱧（はも）料理 ・鱧の観察
④	八坂川	・川の生き物観察
⑤	水の口湧水	・森の自然観察 ・湧水と水道水の飲み比べ
⑥	日出町公民館	・まとめ発表会
⑦	JR杵築駅	ツアー終了



開催の様子②



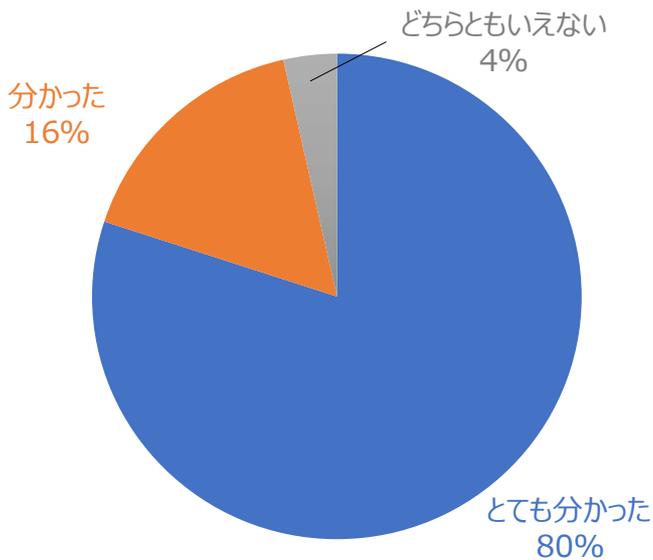
大入島コース

行程	場所	内容
①	JR佐伯駅	オリエンテーション →フェリーで大入島へ
②	海の細道など	・オルレコーストレッキング ・生物観察
③	昼食	・地元の魚を使ったBBQなど
④	白浜海水浴場	(1) 干潟の生き物観察 (2) サップ体験
⑤	海の家あじも	・まとめ発表会
⑥	JR佐伯駅	ツアー終了

アンケート結果

参加者アンケート

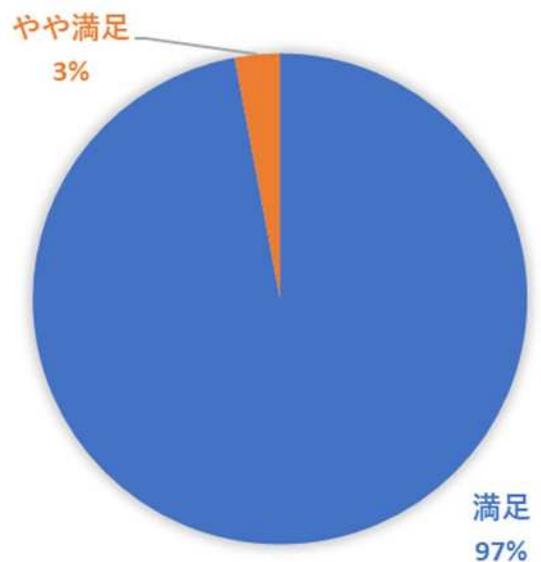
Q：自然を守る大切さがわかりましたか？



全参加者85名のうち、「とても分かった」、「分かった」の合計が82名(約96%)だった

保護者アンケート

Q：イベントに満足しましたか？



回答のあった保護者68名のうち、「満足」が66名(約97%)、「やや満足」が2名(3%)だった

環境保全の意識向上に寄与した

保護者アンケート自由記述（一部抜粋）

・普段私達が教えてあげられない事を専門の先生方に教わって、子供達は自然について知識を深められいい経験になりました。ありがとうございました。

・とても楽しく参加させて頂きました。帰宅後スタッフさんやガイドさんから聞いたお話や自分が体験した事を話してくれました。
普段科学や実験などに興味がある息子ですが、帰宅後は図鑑を出し「これを見た」など話してくれました。今後もこの様な機会があれば是非参加させたいと思います。

・プログラムが全て楽しかったそうです。また、機会があれば参加させます。ありがとうございました。

・来年度もこのイベントがあると嬉しいです。

・とても有意義な時間と経験をさせていただきありがとうございました。目をキラキラさせて色々と報告をしてくれました。なかなか1人でバスでの丸一日かけての体験に参加できることはないため、自信にもつながったようです。ありがとうございました。

